

(様式4)

## 食育パートナーシップ事業 ～働き盛り男性に対する食育推進～

健康福祉事務所名 龍野

### 1 食育推進状況

食育推進課題	・食育が固定化傾向で、若い世代・男性や無関心層を意識した効果的な事業展開の方策を探る必要がある。 ・関係機関・団体等の連携体制をさらに充実させ、現計画の指標を推進する施策の検討と評価できるデータ集積を行う必要がある。
推進方策	・事業展開や評価方法の情報交換を行い、地域課題の共有化と推進体制の強化を図る。 ・働き盛り男性のモデル的取組みを事業所健康管理者、関係機関・団体の食育推進指導者と共有し、ボトムアップを図る。
進捗状況	・関係機関・団体が連携した推進体制の強化や今後の方策等を見出す機会となった。 ・実態調査結果から得た指導方針を地域食育推進の事業展開に活用する。

### 2 食育関係者

【市町行政】 食育担当主管課、 福祉/農業/環境/商工関係課、 教育委員会
【関係団体】 幼・保代表、いずみ会、 子育てひろば、栄養士会、 生活研究グループ、健康財団 商工会、給食施設協議会
【県行政】 農林水産振興事務所、 農業改良普及センター、 健康福祉事務所

### 3 食育パートナーシップ実践活動の概要

実施テーマ	働き盛りの男性に対する食育推進		
対象及び参加者数	①モデル事業所従業員（20～50代男性） 延べ82人 ②給食施設の食育・健康づくり指導者 43人 ③管内食育関係機関・団体の食育指導者 83人		
課題及び目標	・20～40代男性は食事や生活に関する健康上の課題が多く、対策が必要であるが、十分な関わりを持っていないため、働き盛り男性、子育て世代における食育の必要性の認識を高める。 ・食育推進を地域に普及し実践者を増やすため、従来の関係機関・団体に加えて、事業所や給食施設協議会等の新たなターゲットに働きかける。		
事業内容	日時・場所	内容	講師・運営スタッフ
	①H27. 8. 27及び H27. 12. 16, 22, 24 (モデル事業所)	食生活改善の実践指導 (1)アンケート及び個別健康教育 (2)タイプ別実践事項の決定	事業所、地域活動栄養士会、健康財団、龍野健康福祉事務所
	②H27. 8. 11 (学校厚生会 西播活動センター)	指導媒体提供による食生活改善の推進 (1)地域課題の情報提供 (2)給食施設における実践活動の支援	給食施設協議会、健康財団、龍野健康福祉事務所
	③H27. 12. 3 (佐用町 南光文化センター)	食育推進の指導者育成 (1)講話「ライフステージ別お口の健康づくり」 (2)情報提供「連携で進める食育実践」	佐用町歯科保健センター 給食施設協議会 龍野健康福祉事務所
評価結果	【プロセス評価】 ①集団健康教育 : モデル事業所対象者 42人、出席者 36人(86%) ②個別健康教育 : 実施回数 2回、実施人数 82人 ③食育指導者研修会 : 4機関、1団体、2事業所、56施設 計 72人 ④指導媒体の普及 : 実施回数 5回、93施設、98人 ⑤情報提供と課題提起 : 開催回数 9回、延参集機関・団体数 116、延出席者 162人  【結果評価】 (1) 働き盛り男性の食生活改善実践指導 ・調査対象：20～60歳代 3か月間の実践で前後比較ができた者 40名 ・体格判定：実践後、体格適正者が5%増えた。 ・総合判定：実践後、10%が「見直し」から「良好」に変わった。 ・項目別判定：実践後、依然見直す必要がある者は、野菜摂取(68%)、生活習慣病予防の運動(58%)、お口の健康(58%)であった。 (2) 3ヶ月間の実践状況と今後の取り組み意識 1回目の結果や現状を踏まえて取り組み項目を決め実践した人は25人(62.5%) また、3か月後の評価と個別指導後、今後新たに取り組む意思表示をした人は39人(97.5%) →生活改善の意欲を支援する体制が進んだ。		

# 食育パートナーシップ事業

～働き盛り男性に対する食育推進～

## 食育パートナーシップ会議

### 構成メンバー（関係機関・団体）

#### 行政機関（市町・県）

- 【たつの市】健康課・児童福祉課・農林水産課・環境課・  
商工観光課・教育委員会（学校教育課・  
教育総務課・社会教育課）
- 【穴粟市】健康増進課・農業振興課  
教育委員会（子ども未来課・学校教育課）
- 【太子町】さわやか健康課・社会福祉課・産業経済課・  
生活環境課・教育委員会（管理課・社会教育課）
- 【佐用町】健康福祉課（健康増進室・社会福祉推進室・  
子育て支援室）・農林振興課・商工観光課・教育委員会
- 【県】光都農林振興事務所・龍野農業改良普及センター・  
龍野健康福祉事務所

#### 関係団体

- 保育園、幼稚園、小学校
- 生活研究グループ
- いずみ会
- 揖龍地域活動栄養士会
- 西播磨まちの子育てひろば
- 社会福祉協議会
- 給食施設協議会
- モデル事業所
- 健康財団西播磨支部

#### 【ねらい】

- ①今後の事業展開を円滑に行えるよう、県施策と各市町食育推進事業の調整を図る。
- ②各市町関係課の分野毎に、事業展開や評価方法の情報交換を行い、地域課題の共有化と推進体制の強化を図る。
- ③働き盛り世代に対するモデル的取組みを関係機関・団体の食育推進指導者と共有する。
- ④食育課題に取り組む地域の関係団体のボトムアップを図る。

#### 【第1回】

日時：6月22日（月）15:00～16:30  
参集者：市町食育主幹課、健康福祉事務所 9名  
内容：(1)当所及び各市町の食育推進計画と今年度の取組について  
(2)地域課題に対する事業展開方法、新たな連携団体と役割分担

#### 【第2回】

日時：7月29日（水）14:00～16:00  
参集者：上記関係機関 29名  
内容：意見交換 (1)各市町における食育推進計画の推進状況及び課題  
(2)食育関係機関・団体の連携事例の紹介  
(3)地域課題の共有化と関係者の連携した取組み 等  
情報提供 (1)健康増進プログラム  
(2)健康づくりチャレンジ企業制度  
(3)当所における今年度の食育の取組み

#### 【第3回】

日時：7月30日（木）14:00～15:30  
参集者：モデル事業所、地域活動栄養士会、給食施設協議会、西播磨健康財団、  
健康福祉事務所 7名  
内容：(1)男性従業員の食生活状況と健康課題  
(2)行動変容を促す取組み方法の検討、実践状況の評価方法

# 食育パートナーシップ実践活動

## 【ねらい】

- ・働き盛り男性、子育て世代における食育の必要性の認識を高める。
- ・食育推進を地域に普及し実践者を増やすため、従来の関係機関・団体に留まらず、あらゆる機会を捉えて新たなターゲットに働きかける

### 第2次食育推進計画との関連

- ・働き盛り男性への食育の普及
- ・子育て世代の食育力の強化

## 第1回

【日時】・ポスター掲示/机上媒体：H27年7月30日～9月30日

・食生活改善の実践指導：前H27年8月27日⇒後H27年12月16/22/24日

【場所】モデル事業所 社員食堂および休憩室

【内容】・健康講話、健康増進プログラム結果説明 ⇒ 3ヶ月後の結果について個別指導  
・タイプ別実践事項の決定 ⇒ 実践状況の確認と今後の取組み  
・食課題に対する啓発資料の掲示 ⇒ 健康実践カードの配付

【工夫点】①安全衛生管理者、各部署代表と連携した実施方法の決定  
②自己評価と取組み決定 及び 実践状況の指導前後比較  
③職員会議において事前周知、継続支援グッズ作成



健康講話「自分の健康は自分で管理しよう!!」

健康増進プログラム結果から自己評価し、取組みを決める



個人にあわせた食習慣のアドバイスを実施

## 第2回

【対象・参加施設数】

給食施設の職員・指導者 43施設

【日時・場所】 学校厚生会

H27、8、11(火)・西播活センター

【内容】媒体提供による食生活改善の推進

- (1)地域課題の情報提供
- (2)給食施設における実践活動の支援
- (3)指導媒体の提供

## 第3回

【対象・参加者数】

関係機関・団体の食育指導者 83人

【日時・場所】

H27、12、3(木)・南光文化センター

【内容】食育推進の指導者育成

- (1)講話「ライフステージ別お口の健康づくり」
- (2)情報提供「連携で進める食育実践」
- (3)指導媒体の提供

## ～まとめ～

働き盛り男性をターゲットにし、健康教育前後の実践行動比較ができた。今回の結果では、個人の意思で実践できる項目は改善率が高く、逆に通勤時間、家族構成、勤務態勢など生活環境と関わりが深い項目は低いため、個人の取組みを周囲が支援出来る具体策が必要である。

また、自分の課題がわかる健康チェック媒体を、様々な場で活用する体制ができた。

今後は、今回の成果を関係機関・団体等に情報提供し、無関心層へのアプローチ方法の検討、男性を支える家庭に対する普及、市町食育推進計画への反映と具体的施策への展開など、体制整備を検討していきたい。